

JALOS ニュース

Japan Lubricating Oil Society

2022 7月号

「2022年度 潤滑油研究会」開催

7月8日（金）に、潤滑油の品質確保事業等への支援事業（資源エネルギー庁補助事業）の一環として、潤滑油技術等に携わる人材を育成するために必要な潤滑油関連情報を提供することを目的として「2022年度 潤滑油研究会」を開催いたしました。

本年度も、オンライン形式での開催となりましたが、当日は会員を中心に110台のパソコン接続による参加を得て、潤滑油製造業近代化委員会委員長 和川紀之氏（三和化成工業株式会社）の開会のご挨拶に始まり、盛況に行われました。

今回の研究会では、一般財団法人日本エネルギー経済研究所の久谷一朗氏及びENEOS株式会社の柴田潤一氏を講師にお招きし、それぞれ専門の立場から次のテーマについてご講演頂きました。

2022年度 潤滑油研究会		2022年7月8日(金)
13:40	開会の挨拶 潤滑油製造業近代化委員会委員長 和川 紀之 氏 (三和化成工業株式会社 常務取締役 (技術担当))	
13:50~14:50	講演Ⅰ 「激動する国際エネルギー情勢の展望と課題」 講師 一般財団法人日本エネルギー経済研究所 戦略研究ユニット・研究理事 久谷 一朗 氏	
14:50~15:00	休憩	
15:00~16:00	講演Ⅱ 「不水溶性切削油の役割と近年のトレンド」 講師 ENEOS株式会社 潤滑油カンパニー 潤滑油研究開発部 工業用潤滑油グループ 上級研究員 博士(工学) 柴田 潤一 氏	



開会のご挨拶：和川 紀之 氏

目次

1. 「2022年度 潤滑油研究会」開催
2. JALOS 技術講習会
「初級コース 試験・分析方法」開催
3. 価格交渉促進月間（2022年3月）のフォローアップ
調査の結果について
4. 潤滑油需給統計
5. お知らせ
6. 協会の動き
7. 今後の予定

一般社団法人 潤滑油協会

URL <https://www.jalos.or.jp/>

講演 1. 「激動する国際エネルギー情勢の展望と課題」

一般財団法人日本エネルギー経済研究所

戦略研究ユニット・研究理事

久谷 一朗 氏

国際エネルギー情勢に関し、コロナ禍や最近のロシアによるウクライナ侵攻に伴うエネルギー価格高騰の現状や今後のロシア産原油の動き等について説明。

また、エネルギー安全保障に関わる国際情勢が原油価格や今後の需給動向にどのように影響するか等について、米国シェール革命や国際紛争リスク等、具体的な事例を示しながら解説。

今後のエネルギー情勢に関するポイントとして、長期的な視点から、脱炭素を目指す中国や産油国および国際的な石油企業の取組み等について、具体的な事例を紹介。

さらに、新たな問題として、温暖化対策により電力化とデジタル技術活用がさらに進むため、エネルギー安全保障の軸足が、化石エネルギー輸入から「電力・サイバーセキュリティ」へと移行する可能性や、脱炭素への要求から、リチウム等レアメタルの安定供給が重視され、戦略物資として外交ツールになりうることから、「重要鉱物セキュリティ」が重要となること等を説明。



講演 1：久谷 一朗 氏

講演 2. 「不水溶性切削油の役割と近年のトレンド」

ENEOS 株式会社 潤滑油カンパニー

潤滑油研究開発部 工業用潤滑油グループ

上級研究員 博士（工学） 柴田 潤一 氏

切削油の役割について、切削油の働きと作用メカニズム、不水溶性あるいは水溶性等切削油の分類について概要を説明後、不水溶性切削油の特徴と使用分野、処方の概略および性状等についてわかりやすく解説。

最近のトレンドとしては、①切削油の非塩素化が進んだ経緯と塩素系極圧剤の代替技術、②高引火点切削油の消防法における利点や加工性能および③微量の油剤で加工できることから脱炭素化に貢献できる技術として、極微量切削油供給(MQL: Minimal Quantity Lubrication)加工システムの利点や特徴などを説明。

また、基油が金属加工に及ぼす影響について、分子動力学(MD: Molecular Dynamics)シミュレーションを活用して面圧下での MD 計算を行い、基油中における油性剤の拡散・吸着挙動を可視化することにより、ノルマルパラフィン、イソパラフィンおよびナフテンにおける油性剤の吸着挙動を研究し、基油組成が油性剤の吸着活性に影響を与えることを確認した事例を紹介。



講演 2：柴田 潤一 氏

JALOS 技術講習会「初級コース 試験・分析方法」開催

7月22日（金）に、潤滑剤関係業務において経験1～3年程度の方を対象とした、JALOS 技術講習会「初級コース 試験・分析方法」をオンライン形式で開催いたしました。

多数の方の参加を得て、講義が行われました。内容については、次のとおりです。

講師：ENEOS 株式会社 中央技術研究所

ソリューションセンター 試験分析グループ

上席研究員 中野 幸弘 氏



講師：中野 幸弘 氏

講義：「試験・分析方法と目的 –石油試験の実施及び考察–」

潤滑油に関する各種試験・分析方法の目的と概要、サンプリングにおける注意事項、主要な試験項目とその特徴、得られた試験結果の見方や妥当性の確認、安定した試験を行うための精度確認やトラブルが発生した場合の原因分析例などについて解説。

また、最新の潤滑油の特徴や関連する試験項目、環境および安全として、試験室における安全対策などについても解説。

価格交渉促進月間（2022年3月）のフォローアップ調査の結果について

中小企業庁では、価格交渉が9月に次いで頻繁に行われている3月も「価格交渉促進月間」として設定し、中小企業が、原材料費やエネルギー価格、労務費などの上昇分を、発注元企業に適切に価格転嫁をしやすい環境を整備するための取組を進めています。

3月の価格交渉促進月間の取組の一環として、中小企業に対するフォローアップ調査を実施しており、このたびその結果をとりまとめ、6月22日付けで公表されましたのでお知らせいたします。

1. 価格交渉促進月間のフォローアップ調査の概要

(1) アンケート調査

中小企業等を対象に、親事業者（最大3社分）との価格交渉や価格転嫁に関するアンケート調査を実施しました。業種毎の調査票の配布先は、経済センサスの産業別法人企業数の割合（BtoC取引が中心の業種を除く）を参考にして抽出。

○配布先の企業数：150,000社

○調査期間：5月11日～6月17日

○回答企業数：13,078社（※回答から抽出される発注側企業数は、のべ25,575社）

(2) 下請 G メンによるヒアリング

下請 G メンが、中小企業等から価格交渉や価格転嫁についてのヒアリング調査を実施。なお、ヒアリング先は、①地域や業種のバランスに配慮し、過去にヒアリングを実施した事業者から選定するとともに、②過去のヒアリングにおいて、取引先との関係でコストが価格に反映できていない状況や十分に価格交渉が行われていない状況等がみられた事業者を優先して選定。

○調査期間：令和4年4月18日～4月28日

○調査方法：電話調査

○ヒアリング件数：約1,560社

2. 価格交渉促進月間のフォローアップ調査の結果概要

価格交渉の協議状況や価格転嫁の実現状況等について、業種横断及び業種別に調査結果をとりまとめております。

特に、業種横断の結果からは、価格協議では1割程度が、価格転嫁では2割程度が、全く実現していないという状況です。また、業種別のスコアリングからは、自主行動計画または業種別ガイドラインの策定業種は、非策定業種よりも、比較的良好な状況であるとなっています。

今後、これらの結果を踏まえ、状況の良くない発注側の個別企業に対しては、下請中小企業振興法に基づく「指導・助言」の実施を検討するとともに、業種別の自主行動計画やガイドラインの拡大に取り組むとのことです。

詳細につきましては、下記ホームページをご参照下さい。

◇経済産業省ホームページ

ホーム > ニュースリリース > ニュースリリースアーカイブ > 2022年度6月一覧 > 価格交渉促進月間（2022年3月）のフォローアップ調査の結果を公表します

<https://www.meti.go.jp/press/2022/06/20220622002/20220622002.html>

【 信頼される依頼試験を提供します 】

対象試験・分析項目

- 潤滑油剤の規格試験、○潤滑油剤の性能試験、○潤滑油剤の成分分析
- 潤滑油剤の特殊試験（エンジン試験、摩擦特性試験等）

各種試験のご依頼、ご相談等は下記までお問い合わせ下さい。

〒273-0015 千葉県船橋市日の出 2-16-1

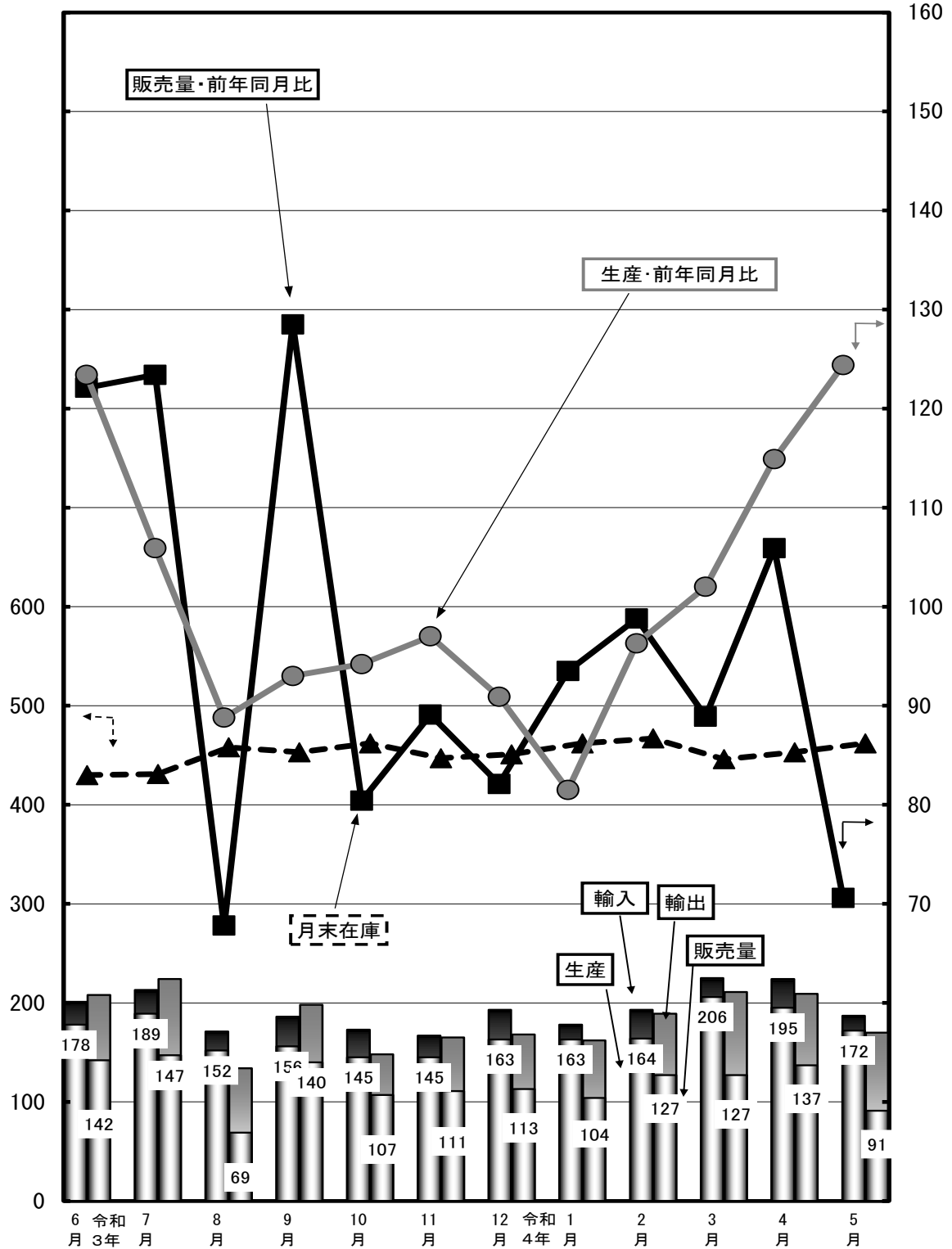
一般社団法人潤滑油協会 技術センター 一般試験室

TEL 047-433-5181 FAX 047-431-9579 URL <https://www.jalos.or.jp/>



潤滑油需給統計

5月の生産量は172千kLで前年同月比で24.4%上回り、販売量は91千kLで29.4%下回った。
 (千kL) (千kL) (%) (%)



出典：経済産業省 資源・エネルギー統計月報（注：棒グラフ上段の数字は生産量、下段の数字は販売量）

潤滑油需給統計（時系列表）

（単位：kL）

年 月	生産	輸入	国内向販売	輸出	在庫	生産部門	
						生産部門	販売部門 (製造業者・輸入業者)
令和 1年	2,268,946	235,247	1,578,055	839,240	460,599	170,119	290,480
2	2,026,775	195,920	1,419,764	749,232	468,262	182,964	285,298
3	2,008,464	270,105	1,469,039	766,211	450,916	168,202	282,714
令和 2年度	2,029,653	192,810	1,430,267	812,851	450,597	177,166	273,431
3	1,969,259	279,529	1,444,278	723,422	445,765	162,812	282,953
令和 3年1~3月	572,028	53,826	383,942	246,676	450,597	177,166	273,431
4~6	486,334	64,331	401,040	170,031	430,240	156,605	273,635
7~9	497,386	72,084	356,256	199,321	452,815	162,675	290,140
10~12	452,716	79,864	327,801	150,183	450,916	168,202	282,714
令和 4年1~3月	532,823	63,250	359,181	203,887	445,765	162,812	282,953
令和 3年 3月	202,110	22,415	143,430	69,962	450,597	177,166	273,431
4月	169,552	20,941	129,563	65,535	452,423	172,639	279,784
5月	138,472	20,072	129,577	38,029	449,923	166,330	283,593
6月	178,310	23,318	141,900	66,467	430,240	156,605	273,635
7月	189,279	23,585	147,253	77,167	431,005	149,989	281,016
8月	152,304	18,949	68,939	64,546	457,894	163,339	294,555
9月	155,803	29,550	140,064	57,608	452,815	162,675	290,140
10月	145,046	28,190	103,731	41,073	461,563	164,232	297,331
11月	145,128	21,704	110,602	53,885	447,263	155,306	291,957
12月	162,542	29,970	113,468	55,225	450,916	168,202	282,714
令和 4年 1月	163,011	14,676	104,243	58,029	461,973	168,753	293,220
2月	163,569	29,472	127,473	61,837	466,991	167,994	298,997
3月	206,243	19,102	127,465	84,021	445,765	162,812	282,953
4月	249,339	28,554	193,528	71,698	452,789	152,784	300,005
5月	220,533	15,008	128,938	79,391	462,369	152,865	309,504
前年同月比 (%)	159.3	74.8	99.5	208.8	102.8	91.9	109.1

※「国内向販売」は調査対象が調査対象以外（消費、卸売又は小売事業所）へ販売した数量（理論値）を示す。
 ※令和 4 年 4 月分より潤滑油の集計方法の改訂が行われました。詳細は JALOS ニュース No.337 をご覧ください。

製造業者・輸入業者の消費者・販売業者向販売、在庫内訳

（単位：kl）

区 分	消費者・販売業者向販売 (前年同月比 %)	在 庫 (前年同月比 %)
潤滑油計(R04年5月)	158,689 (91.9)	309,504 (109.1)
ガソリンエンジン油	27,803 (101.9)	23,422 (112.8)
ディーゼルエンジン油	14,639 (89.9)	11,698 (114.6)
その他 車両用	14,304 (90.7)	22,712 (113.9)
船舶用エンジン油	8,758 (93.5)	10,867 (98.5)
機 械 油	22,373 (94.5)	19,668 (105.7)
金 属 加 工 油	10,031 (92.3)	13,518 (97.7)
電 気 絶 縁 油	5,145 (114.7)	7,805 (189.6)
その他特定用途向け	29,855 (71.6)	99,032 (103.6)
その他	25,781 (111.3)	100,782 (112.6)

出典：経済産業省 資源・エネルギー統計月報

お知らせ

○入会会員（賛助会員：6月27日付）

SGS ジャパン株式会社

事業内容：各種検査、検証、試験及び認証業務等

○デジタルの日について

この度、資源エネルギー庁石油精製備蓄課より標記についての周知依頼がありましたので、お知らせいたします。

「デジタル改革関連法案ワーキンググループ」における議論を踏まえ、「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」を実現するため、社会全体でデジタルについて定期的に振り返り、体験し、見直す機会として、2021年から「デジタルの日」が創設されました。

創設初年度となる2021年は、10月10日（日）、11日（月）に「2021年デジタルの日」を実施し、官民が一体となって、デジタル庁創設を記念した「デジタル元年」の取組に加え、「デジタルデビュー」のための機会形成や、中小企業を始めとした民間企業や地域のデジタル活用支援による産業の活性化を図るための取組等が実施され、2022年以降は「毎年10月の第一日曜日・月曜日をデジタルの日」とし、また「毎年10月をデジタル月間」にするとのことです。

2022年は、テーマを「ふれよう！#デジタルの日」とし、10月2日（日）、3日（月）を「デジタルの日」、10月を「デジタル月間」として設け、国民の皆様がデジタルに触れる“きっかけ”をつくる取組を推進し、企業・各省庁の皆様を含め、社会全体で「デジタルの日」を盛り上げたいとのことです。

詳細につきましては、下記ホームページをご参照下さい。

◇デジタル庁ホームページ

ホーム > 政策 > デジタルの日

https://www.digital.go.jp/policies/digital_days/

○「サイバーセキュリティ体制構築・人材確保の手引き」（第2.0版）について

経済産業省は、企業がサイバーセキュリティ経営ガイドラインに基づいて組織体制を構築し、必要な人材を確保するためのポイントをまとめた『サイバーセキュリティ体制構築・人材確保の手引き』（以下、「手引き」）をリニューアルし、第2.0版として公開していますので、お知らせいたします。

概要

サイバー攻撃が高度化・巧妙化し、あらゆる企業が攻撃の対象となる中、経営者のリーダーシップの下でのサイバーセキュリティ対策の推進が急務となっています。

そこで、経済産業省では、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）とともに、「サイバーセキュリティ経営ガイドライン」を策定しています。

本手引きでは、「サイバーセキュリティ経営ガイドライン」の付録として、企業におけるサイバーセキュリティ対策の推進の基盤であり、経営者が積極的に関わるべき、リスク管理体制の構築と人材の確保について、具体的な検討を行う際のポイントが解説されています。

公開されている第 2.0 版では、第 1.1 版（2021 年 4 月公開）をもとに、読みやすさを重視しポイントをしばって検討手順を明確化するとともに、企業におけるデジタル活用が進展する中で「プラス・セキュリティ」*の必要性がさらに高まっていることを踏まえ、一部内容の更新・拡充が行われています。

※「プラス・セキュリティ」とは：

自らの業務遂行にあたってセキュリティを意識し、必要かつ十分なセキュリティ対策を実現できる能力を身につけること、あるいは身につけている状態のこと。

詳細につきましては、下記ホームページをご参照下さい。

◇経済産業省ホームページ

ホーム > 政策について > 政策一覧 > 安全・安心 > サイバーセキュリティ政策 > 「サイバーセキュリティ体制構築・人材確保の手引き」（第 2.0 版）をとりまとめました

<https://www.moj.go.jp/content/001373771.pdf>

○経済安全保障啓発パンフレットについて

公安調査庁が標記のパンフレットを公表していますので、お知らせいたします。

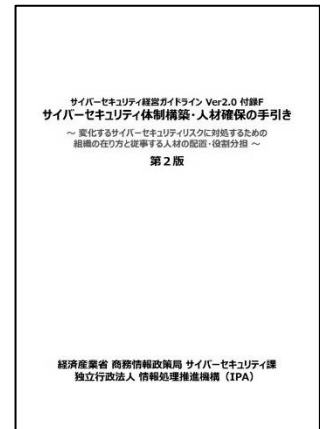
経済安全保障の観点から、我が国を取り巻く現状や、技術・データ・製品等の流出経路のほか、不審なアプローチを受けた場合の対応など、実際の企業活動等のなかで直面する可能性のある問題にも焦点が当てられています。

詳細につきましては、下記ホームページをご参照下さい。

◇公安調査庁ホームページ

フロントページ > 公表資料について > 経済安全保障の確保に向けて 2022～技術・データ・製品等の流出防止～

<https://www.moj.go.jp/content/001373771.pdf>



協会の動き

○自動変速機油分科会 JASO M 349 WG (Web 会議) に参画

6月22日(水)に公益社団法人自動車技術会主催による、自動変速機油分科会「JASO M 349 WG」に参画しました。

○MCO TF (Web 会議) に参加

6月22日(水)に開催された、一般社団法人日本自動車工業会主催による「MCO TF」にオブザーバーとして参加しました。

○第1回 潤滑油製造業近代化委員会 (Web 会議)

6月27日(月)に、第1回 潤滑油製造業近代化委員会(委員長:三和化成工業株式会社 和川 紀之氏)を開催しました。審議内容は以下のとおりです。

- (1) 2022年度事業の進め方について
- (2) その他

○製品部会 (Web 会議) に参画

6月29日(水)に開催された、公益社団法人石油学会主催による「製品部会」に参画しました。

○2 サイクルエンジン油分科会 JASO M 342 WG (Web 会議) に参画

7月1日(金)に公益社団法人自動車技術会主催による、2 サイクルエンジン油分科会「JASO M 342 WG」に参画しました。

○第1回 技術分科会 (Web 会議)

7月5日(火)に、第1回 技術分科会(分科会長:三和化成工業株式会社 滝島 克巳氏)を開催しました。審議内容は以下のとおりです。

- (1) 2022年度事業の進め方について
- (2) その他

○第2回 自動変速機油分科会 (Web 会議) に参画

7月6日(水)に開催された、公益社団法人自動車技術会主催による「第2回 自動変速機油分科会」に参画しました。

○第1回 エンジンオイル分科会 (Web 会議) に参画

7月7日(木)に開催された、公益社団法人自動車技術会主催による「第1回 エンジンオイル分科会」に参画しました。

【一般社団法人 潤滑油協会ホームページへようこそ】

潤滑油に関する最新情報についてお知らせしています。

- What's New、○イベントインフォメーション、
 - 潤滑油統計情報コーナー、○依頼試験、
 - 潤滑油・環境ワールド、○JASO、JCMA オンファイル
- URL <https://www.jalos.or.jp/>



○2022 年度 潤滑油研究会 (Web 開催)

7月8日(金)に開催。内容は前掲。

○第1回 保安防災分科会 (Web 会議)

7月13日(水)に、第1回 保安防災分科会(分科会長:中外油化学工業株式会社 山内 茂 氏)を開催しました。審議内容は以下のとおりです。

- (1) 潤滑油製造業 BCP 等調査について
- (2) 2022 年度事業の進め方について
- (3) その他

○第2回エンジン試験専門委員会 (Web 会議) に参画

7月19日(火)に開催された、公益社団法人 石油学会主催による「第2回エンジン試験専門委員会」に参画しました。

○JALOS 技術講習会「初級コース 試験・分析方法」(Web 開催)

7月22日(金)に開催。内容は前掲。

○2022 年度 潤滑油連絡会に参画

7月22日(金)に開催された、石油連盟主催による「2022 年度 潤滑油連絡会」に参画しました。

今後の予定

○創立記念日

9月1日

○潤滑剤等関連団体連絡会議

10月12日

禁無断転載

発行日 2022年 7月22日

発行所 一般社団法人 潤滑油協会

〒273-0015

千葉県船橋市日の出二丁目16番1号

TEL 047-433-5181 (代表)

FAX 047-431-9579

印刷所 株式会社みつわ